

令和7年度 第3回都島区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
1	<p>・来年4月から道路交通法が一部改正がされ、自転車の走行ルールが変わる。警察と連携して、交通マナーではなく、交通ルール講習会・指導会の開催をしてほしい。また、大人だけではなく、子ども（小中学校、幼稚園、保育園）を対象にした講習会・指導会の開催をしてほしい。</p>	雲井委員	<p>・行政と都島警察交通課が連携した、改正後の交通ルール周知・認知を目的とした取組を検討中です。具体的にはショッピングモールの場所をお借りしたり、展開できるところを探し、地域の役員さんと相談しながら取進めてまいります。</p> <p>・子どもを対象にした取組について、現在、都島警察が府立高校で展開していますので、区も一緒に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>・16歳以上だけでなく小中学生にも伝えていく必要がありますので、今、学校に相談をしているところです。取組を継続的に推進することで、子どもから大人まで交通ルール遵守を根付かせてまいりたいと考えています。</p>	(当日回答のとおり)	防災安全
	<p>・区政会議への若い世代参加の促進、若者の声をもっと反映される仕組みづくりが必要だと思う。</p>		<p>・区政会議への若い委員の登用について、委員は、地域・公募による公平な委員選定を行っております。公平性の観点から10代のみなど対象を限定とした募集は困難な現状でございます。</p>	(当日回答のとおり)	政策企画
2	<p>・都島区将来ビジョン（案）に記載の「区民一人ひとりが幸せ（Well-being）を実感できる区政へと発展」について、Well-beingの指標を取り入れて数値化・可視化をし、政策運営に生かしていくのか。</p> <p>・Well-being指標でなくても、何らかの形で「区民の幸せ」、「それぞれの幸せ（Well-being）」を定義していくのか、その定義をベースに、どのように区政を運営していくのか。</p>	臼井委員	<p>・Well-being指標について、導入はないものの、各事業・施策を展開していく中で、アンケート調査を行うなど、そういったところで区民の満足度や幸せ感を把握し、今後の事業運営に反映していきたいと考えています。</p>	(当日回答のとおり)	政策企画
3	<p>・若い世代をどう引き込むかといった意見があったが、若い世代の代表としては、地域の防災活動を誰がどこでそのような思いでされていることを知らない。</p> <p>・平日フルタイムで働く人間からすると、どうやって関わっていけばいいかわからない。現役世代でも関わりやすい仕組みが必要だと感じる。</p>	本居委員	(当日回答なし)	<p>・地域の防災活動については、地域の実情に応じて案内されているとお聞きしております。時間帯等についても、平日夜間、土日などに実施し、できるだけ多くの方に参加していただけるよう取り組んでおられます。なお、担当で支援している訓練等は、実施後に区X（エックス）や区ホームページに掲載するなど周知啓発に努めておりますので、ご覧いただければと思います。</p>	防災安全
	<p>・地域活動の担い手がどんな思いを持っているか分かりづらいので、広報などでそれぞれの活動内容や参加者の感想、参加呼びかけをもっと発信すれば若者も興味を持ちやすくなり、参加のきっかけになると思う。</p>		(当日回答なし)	<p>・必要に応じ地域活動等を担っていただいている方の感想など区広報紙等にて情報発信に取り組んでいるところですが、令和6年度から区ホームページに「みやこしまひとまちファイル」を立ち上げ、地域の活動報告だけでなく、担い手の方にもスポットを当てた情報発信にも取り組んでいます。</p> <p>・加えて、まちづくりセンターでは、定期的に発行しているチラシ「みやこまイロトリドリ」の中で地域活動の報告とともに、担い手募集の掲載も行っております。また、LINEグループ「都島まちづくりサロン」を立ち上げ、地域の方々が自由に参加され、イベントなどの活動予告（報告）や意見交換等を実施されております。</p> <p>・今後とも情報発信内容を工夫していくとともに、引き続きSNSなど様々な媒体を活用して情報発信に取り組んでまいります。</p>	市民協働